

あまみ もり まも がみ 奄美の森の守り神〜ハブ〜



第2回子ども博物学士講座は、「奄美の森の守り神〜ハブ〜」と題し、奄美市笠利町の原ハブ屋奄美さんにて、実施、20年以上続くこの博物学士講座で初めてハブに関する講座となりました。今回当初予定していた参加人数は80名前後!!しかし、応募数は、なんと134名!嬉しい悲鳴ですが困惑(笑)、最終的には2回にわけて実施するご提案を原さんに頂き実施にこぎつけました。講師は、原良太さんと原拓哉さん!!二人のプロの分かりやすい説明で低学年の子供達も終始笑顔でした☆ 今回の講座に参加した赤徳小2年の宮川千紘さんは「ハブが怖かったけど、毒を持っているハブは三角の頭をしていると初めて知りました。」、大勝小4年の里園楓子さんは、「次にハブやヘビなどに関する博物学士講座があったら、また参加したいです。家に帰ったら、ハブが出ないように家の周りの草などは、抜いておこうと思いました。」と感想を述べました。「奄美に住む誰もが知っていそうで何気に知らない知識」、今回の学びも、自分たちのすむ奄美を見つめ直すきっかけとなって貰えればと思います。

次の第3回講座は、9月9日(土)スターウォッチング in 龍郷町と題し、奄美少年自然の家との共同講座となります。たくさんの参加をお待ちしています。参加者:120名(児童70名 保護者42名 未就学8名)